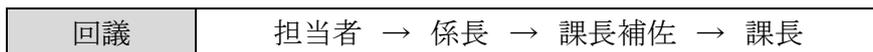


デモンストレーション 決裁シナリオ

1. 概要

総務管財課に県から照会文書が届いた。この照会に回答するためには全庁に照会を行う必要があることから、総務管財課において、課長決裁を経て庁内照会を行う。

2. 決裁ルート



3. 内容

(1) 收受

- ① 收受に必要な情報を入力し、以下の文書を添付する。
 - (ア) 県からの依頼文(PDF 形式)

(2) 起案

- ① 收受登録した文書から起案を行う。
- ② 担当者において、起案に必要な情報を入力し、以下の文書を添付する。
 - (ア) 庁内照会文書(Word 形式)
 - (イ) 回答票(Excel 形式)
- ③ 上記2.決裁ルートのとおり設定し起案する。

(3) 回議

- ① 係長において、(ア)庁内照会文書(Word 形式)の軽微な誤りについて、自ら修正し承認する。
- ② 課長補佐において、伺い文(案件概要)における修正指示の内容を記載し、担当者に差し戻しする。
- ③ 担当者において、②までの時点における決裁の進捗状況をシステムで確認後修正し、課長補佐に再び回付する。
- ④ 課長補佐が不在のため、課長において引上げ決裁する。
- ⑤ 課長補佐において、後閲とされた決裁文書を閲覧する。

(4) その他

文書の検索、保存、引継、廃棄の処理を説明すること。必要に応じて、上記(1)～(3)の流れの中で説明することも差し支えない。

※指定のシナリオが実現できないときは、代替の方法によること。